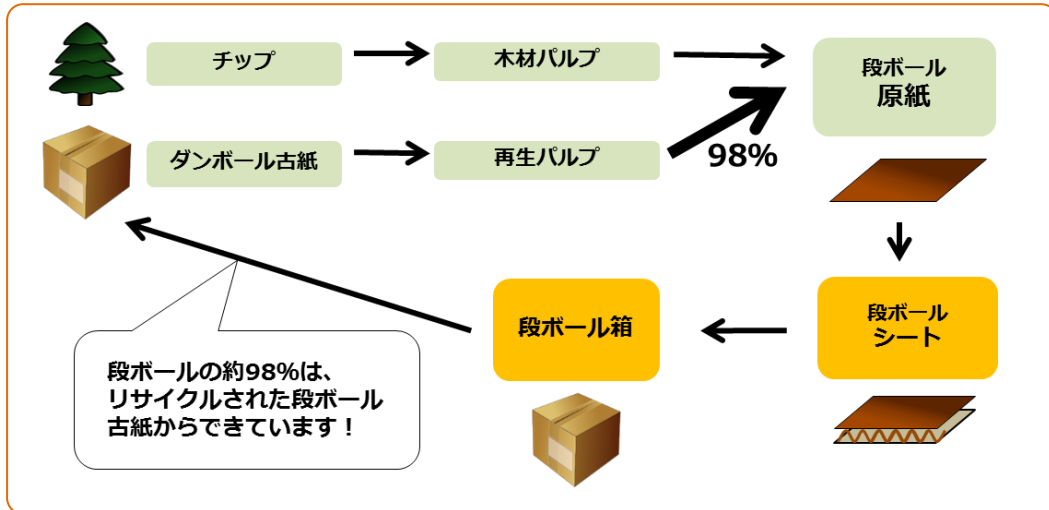


段ボール情勢



最新の統計・発表資料

- ・ 段ボール古紙については[こちら](#)（古紙再生促進センターHP）
- ・ 段ボール箱については[こちら](#)（全国段ボール工業組合連合会 HP）
- ・ その他統計資料については[こちら](#)（世界経済のネタ帳）

1. 原材料動向

(1) チップ・パルプ

チップにつきましては、平成 26 年上期から平成 27 年上期までは値上げ基調にありました。しかし、その後は、米国で住宅廃材由来のチップ供給が増加し、中国の経済減速の影響から引き合いが鈍くなったため、平成 27 年下期から 3 半期続けて値下がりしており、平成 28 年下期価格は前期比 8 ドル安の 145 ドル/1BDU で決着しました。

パルプ価格の指標となる北米産針葉樹クラフトパルプ（N-BKP）につきましては、パルプの最大需要国である中国の経済不安の影響等により、平成 27 年 7 月以降は下げ基調にありましたが、平成 27 年 11 月から平成 28 年 4 月までは横ばいで推移しました。平成 28 年 5 月以降はやや上昇しましたが、8 月～10 月積み価格については、20 ドル安の 680 ドル/トンとなっております。

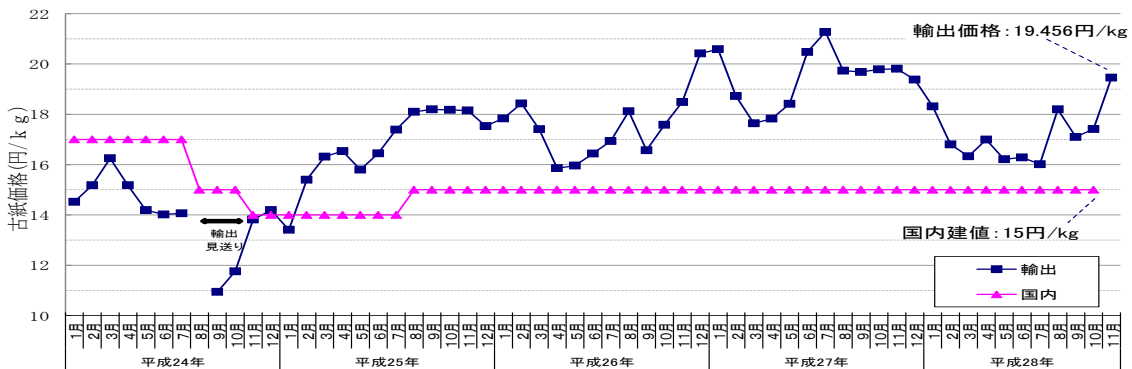
(2) 段ボール古紙

輸出古紙価格につきましては、平成 27 年 7 月以降中国における需要低迷および円高ドル安の進行により、値下げ基調で推移しました。しかし、平成 28 年 8 月積み価格につきましては、中国とベトナムで古紙の需要が増えたため大幅に上昇しました。9 月積み価格につきましては、G20 中国開催のため中国の製紙工場が稼働停止による需要鈍化により下落しましたが、10 月以降は製紙工場の稼働再開と段ボール需要増加による増産を理由に上昇し、11 月積み価格につきましては 19.456 円/kg となっております。

国内古紙価格につきましては、平成 25 年 8 月以降は建値 15 円/kg で推移しておりますが、実際には建値に輸出価格の変動に応じて数円加算して取引されており、平成 28 年 8 月以降も差額加算は継続されております。

段ボール古紙の国内価格及び輸出価格推移

国内価格：関東地区卸問屋店頭渡し価格(古紙再生促進センター)
輸出価格：関東製紙原料直納商工組合から輸出商社への売値



2. 段ボール原紙動向

(1) 需給動向

平成 28 年 1～9 月の原紙生産量(暫定)は 6,929 千トン(前年比 102.0%)、国内出荷量(暫定)は 6,615 千トン(前年比 101.8%) で前年比微増となりました。9 月は、台風の影響により青果物向けが減少した一方、飲料メーカーや加工食品は堅調だったため、生産・出荷ともに増加しました。

製紙メーカー在庫については、9 月末で 495 千トンとなっており、低坪量化に伴う品種増加の影響により、適正在庫量である 350 千～400 千トンを大きく超えた水準で推移しております。

平成28年1～9月の原紙需要(暫定)

単位：千t、%

品種		生産		国内出荷		9月末製紙メーカー在庫	
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
ライナ	Kラ付	2,928	101.2	2,807	101.5	—	—
	Jラ付	1,090	102.7	1,081	103.6	—	—
	内装用	83	97.0	83	97.4	—	—
	計	4,101	101.5	3,971	102.0	314	100.4
中芯	計	2,828	102.7	2,643	101.6	181	119.5
合計		6,929	102.0	6,615	101.8	495	106.6

原紙輸出量につきましては、平成 24 年末以降の円安の進行による価格競争力回復と製紙メーカーの需給調整的な輸出増加施策により、年々増加しております。1月～9月までの輸出量(累計)は、271.4千トン(前年比121.8%)となりました。

段ボール原紙輸出実績 単位：千t、%

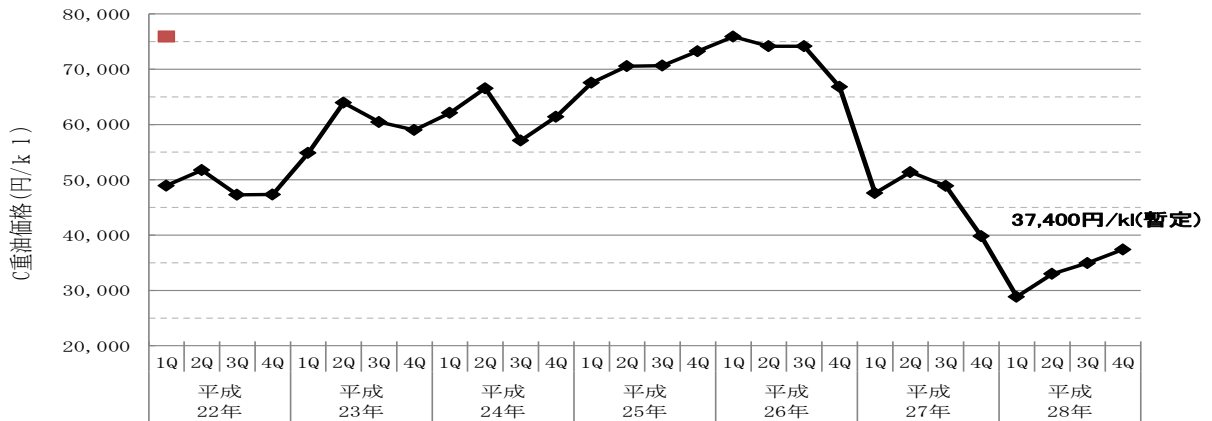
	ライナ		中しん		合計	
	輸出量	前年比	輸出量	前年比	輸出量	前年比
22年	46.8	246.0	17.6	304.2	64.5	259.6
23年	60.4	129.0	9.5	53.6	70.0	108.3
24年	44.7	73.9	13.8	145.9	58.4	83.6
25年	69.0	155.4	96.1	696.1	165.6	283.2
26年	99.6	143.5	153.5	159.7	253.1	152.9
27年	124.7	125.2	169.0	110.1	293.8	116.0
28年1～9月	118.7	126.6	152.7	118.3	271.4	121.8

原紙輸入量につきましては、平成 24 年末からの円安の進行により輸入コストが増加しているため、平成 25 年以降は減少し続けております。1月～9月までの輸入量(累計)は、31.6千トン(前年比67.0%)と、前年比で大幅に減少しております。

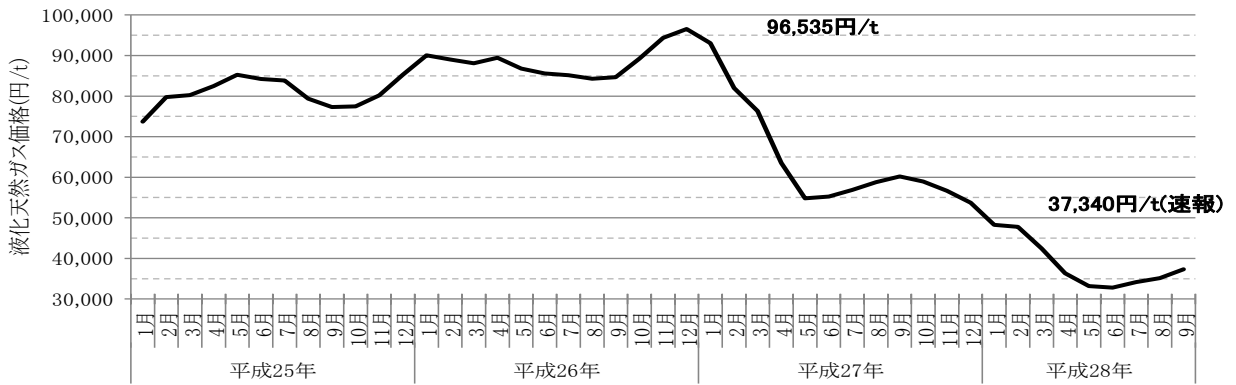
段ボール原紙輸入実績 単位：千t、%

	ライナ		中しん		合計	
	輸入量	前年比	輸入量	前年比	輸入量	前年比
22年	83.1	134.1	47.1	73.0	130.2	102.9
23年	83.3	100.3	21.3	45.3	104.7	80.4
24年	76.3	91.5	47.2	221.2	123.5	117.9
25年	65.4	85.8	26.6	56.4	92.1	74.6
26年	60.4	92.3	22.5	84.7	83.0	90.1
27年	45.9	76.0	10.2	45.2	56.1	67.6
28年1～9月	29.9	79.5	1.7	18.0	31.6	67.0

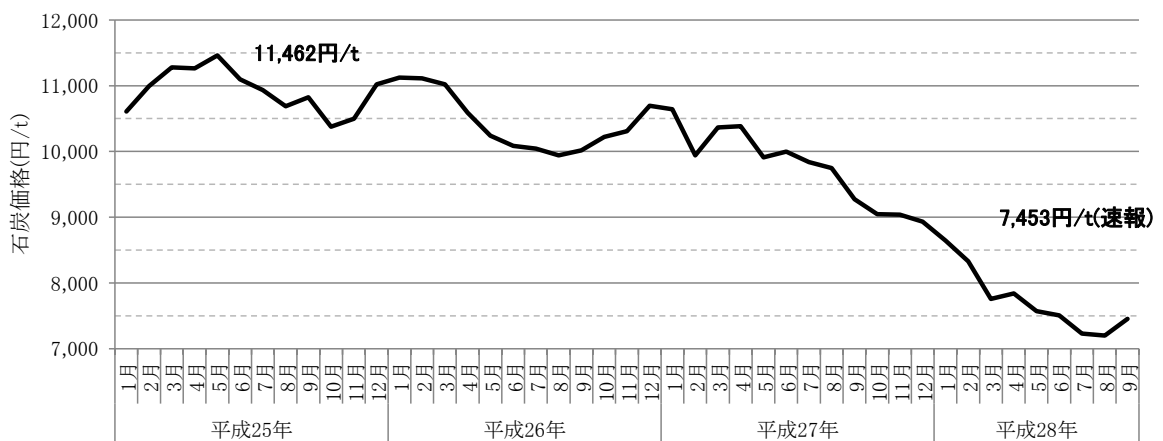
【参考】燃料価格推移（C重油、天然ガス、石炭価格）



一般産業大口需要家向け C 重油価格の推移(硫黄3%)



液化天然ガスの価格推移



石炭（一般炭）輸入価格(CIF:保険料・運賃込)

3. 段ボール製品動向

(1) 需給動向

平成28年1～8月の貼合生産量(累計)につきましては、9,123百万㎡(前年比102.0%)となり、前年比増となりました。

段ボール生産・出荷・消費実績推移表

単位：百万㎡、%

年	貼合生産量 A		出荷量 B		製函投入量 C		製函投入比率 C/A×100
	生産量	前年比	販売量	前年比	投入量	前年比	
18年	13,858	101.0	4,840	99.8	9,111	101.4	65.3
19年	13,974	100.8	4,722	97.6	9,340	102.5	66.8
20年	13,563	97.1	4,469	83.9	9,136	97.8	67.4
21年	12,623	93.1	3,914	87.6	8,707	95.3	69.0
22年	13,066	103.5	4,068	103.9	8,951	102.8	68.5
23年	13,141	100.6	4,005	98.4	9,067	101.4	69.0
24年	13,267	101.0	4,014	100.2	9,183	101.3	69.2
25年	13,459	101.4	4,011	99.8	9,378	102.1	70.0
26年	13,626	101.2	3,973	99.1	9,576	102	70.2
27年	13,739	100.8	3,887	97.8	9,756	101.8	71.0
28年1～8月	9,123	102.0	2,489	98.6	6,559	103.3	71.9

平成28年1月～8月の需要部門別段ボールの製函投入量につきましては、青果物は699百万㎡(前年比100.3%)で概ね前年並みとなりました。

	28年1～7月末			27年1～12月			
	投入量	構成比	前年比	投入量	構成比	前年比	
電気・機械	436	7.6	103.0	735	7.5	99.6	
薬品・化粧品	352	6.1	105.2	583	6.0	100.5	
食料品用	加工食品(飲料含)	2,366	41.1	102.9	3,964	40.6	101.5
	青果物	615	10.7	99.7	1,100	11.3	100.8
	その他	254	4.4	100.3	446	4.6	106.0
繊維製品	120	2.1	101.3	210	2.2	99.6	
陶磁・ガラス・雑貨	318	5.5	105.4	535	5.5	101.5	
通販・宅配・引越	269	4.7	105.8	451	4.6	107.7	
その他	960	16.7	102.9	1,625	16.7	102.2	
包装用以外	60	1.0	92.2	108	1.1	110.4	
合計	5,750	100.0	103.7	9,757	100.0	102.7	

以上